

一 援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	80%	0%	20%	2021年度6月より集団療育開始、まだまだ課題はあります。組み合わせはする予定はありませんが、発達段階に合わせたクラス設定に力を入れていきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	60%	40%	0%	2022年度よりサービス時間の変更を行い、より療育前後の打ち合わせの時間を作っていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	80%	20%	0%	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	80%	20%	0%	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	60%	20%	20%	※1 下記項目にもある連携が課題。毎月の面談による利用児童の把握はできている部分があるが、関係機関との関りが不足している為、その連携も含めた計画の見直しをしていきたいと考えています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	50%	30%	20%	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	80%	0%	20%	サービス担当者会議の開催がほとんどなく照会のみで終えるケース多く評価難しい。基本は児童発達管理責任者が参加が望ましいと考えています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	80%	20%	0%	毎月希望表頂いた上で次月利用スケジュール配布しています。変更ある際は連絡をとっています。
	22	（医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合）子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	30%	70%	0%	医療的ケア児童の受け入れはしていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	70%	30%	0%	※1
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	50%	30%	20%	※1
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	30%	50%	20%	※1
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0%	20%	80%	※1
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	50%	30%	20%	2021年度研修多くありましたが、必要な情報共有や回覧のみな部分もありましたので再度情報共有の時間を作っていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0%	30%	70%	SPARK本部より指導頂き、家族支援プログラムの導入も考えています。まずは保護者様と毎月情報共有からはじめていきます。	